

## つきたい力

- 語彙力の獲得
- 書く力の育成

## 取組みの概要・ポイント

学習の基盤となる“学び方”について研究した。「聴き方・話し方のステップ表」を全学級に掲示し、各教科等の授業で活用した。それぞれの項目は児童と確認をし、定期的に評価したり、自分たちで振り返ったりする機会を設定した。また、達成した項目に花をつけて実態を可視化している。

## 具体的な取組みの内容

### (1)聴き方・話し方のステップ表

「聴いて (input) 考えて (intake) つなげる (output)」の学習過程の実現に向けて、聴き方・話し方のステップ表を作成した。6年間で達成すべき項目を掲示し、日々の学習の中でも活用している。本時の学習の流れやめあてを児童に示し、ステップ表の中で意識すべき項目を児童に考えさせている。また、定期的に振り返りを行ったり、定着している項目に“花”をつけたりして活用している。発表者に身体を向けてうなずきながら聴く、相手の考えと自分の考えを比べながら意見をまとめるなどの力が身についた。



聴き方・話し方のステップ表について詳しく知りたい方はこちら

話し方・伝え方	
11	みんながわかりやすいことに例える
10	言葉+〇〇を用いて伝える
9	相手の反応を確認しながら伝える
8	根拠を持つ
7	わかりやすい言葉を使う
6	話す順番を考える
5	理由を伝える
4	考えを文章で伝える
3	場面に合わせた声の大きさを考える
2	自分の思いや考えを伝える
1	話したい人に体を向ける

聴き方	
7	聞き返すことを考えながら聴く
6	自分の考えと比べながら聴く
5	相手の伝えたいこと(大事なこと)は何かを考えながら聴く
4	発言するタイミングを考える(質問は最後)
3	最後まで聞く
2	表情やうなずきで反応する
1	話している人に体を向ける

### (2)『教材研究の日』の設定

全教職員が同じ方向を向いて授業をつくることができるようにするため、『教材研究の日』を月に一度設定した。具体的な取組みは次の3点である。

#### ①言語能力のグランドデザインの作成

児童の実態をもとに、めざす子ども像として、身に付けたい力を具体的に示した。児童と共に作成し、定期的に見直し更新している。

#### ②国語の授業づくり

学校全体で取り組む行うため、児童の実態や本時までの流れ、単元の言語活動などを全教職員で検討した。「学習指導要領に示されている言語活動の設定に基づく」という発言があるなど、育成をめざす資質・能力を明確にした授業づくりにつながった。

#### ③説明文における指導事項の系統表作成

#### ④日々の教育活動の振り返り

各学年の取組みの報告交流会やモジュール学習で行っている取組みの考察等を行った。



## 取組みを通しての児童の変容

- ①聴き方・話し方から指導することで、相手の言葉を聴こうとする姿、自分の思いを伝えようとする姿が見られることが全学年で増えた。相手に体を向けたり、「もう1回言って?」「こういうこと?」と考えながら聴く姿が多くみられるようになった。言葉を選んで話すことや相手の言葉がどんな意味で使われているのかを聴く経験の蓄積によって、語彙力の獲得にもつながっていくと考える。
- ②全教職員でグランドデザインや系統表を作成し、これらを活用した取組みを進めていくことで、児童アンケート「授業でノートやプリントに自分の考えを書くことは楽しい」の肯定的回答の割合が、58%から76%に向上した。
- ③児童のめざす姿や言語活動を精選し、取り組むことで、実態に合わせた授業づくりができ、児童の「書く力」の積み上げにもつながった。